



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月1日

上場会社名 株式会社UACJ 上場取引所 東
 コード番号 5741 URL http://www.uacj.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 美幸
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 上田 悟郎 TEL (03)6202-2600(代)
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	159,754	△6.9	1,311	△84.7	△135	—	△1,613	—
2019年3月期第1四半期	171,553	12.5	8,586	△9.5	6,806	△12.8	2,260	△48.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △2,670百万円 (ー%) 2019年3月期第1四半期 2,780百万円 (△23.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△33.45	—
2019年3月期第1四半期	46.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	789,129	200,096	23.6
2019年3月期	807,224	206,204	23.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 185,987百万円 2019年3月期 190,998百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2020年3月期の期末配当予想額につきましては、未定としております。

詳細につきましては、本日(2019年8月1日)公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	670,000	1.3	10,000	△32.7	4,000	△35.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、未定としております。

詳細につきましては、本日(2019年8月1日)公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期1Q	48,328,193株	2019年3月期	48,328,193株
2020年3月期1Q	92,461株	2019年3月期	91,347株
2020年3月期1Q	48,236,092株	2019年3月期1Q	48,241,380株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	2
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	四半期連結損益計算書	
	第1四半期連結累計期間	6
	四半期連結包括利益計算書	
	第1四半期連結累計期間	7
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
	(継続企業の前提に関する注記)	8
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
	(会計方針の変更)	8
	(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、前年度後半からの米中貿易摩擦の影響に伴う中国経済の減速、IT・半導体市況の悪化等が引き続き継続しており、軟調に推移しました。

我が国経済については、企業部門、家計部門でも緩やかな成長が続いているものの、世界経済の減速の影響をうけ、不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループの連結業績については、販売数量は増加したものの、地金価格の下落等により、売上高は159,754百万円（前年同期比6.9%減）となりました。一方、損益については、棚卸評価関係が悪化したこと等により、営業利益1,311百万円（同84.7%減）、経常損失135百万円（前年同期は6,806百万円の利益）となりました。また、繰延税金負債の追加計上等により、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,613百万円（前年同期は2,260百万円の利益）となりました。

セグメント別の状況については、以下のとおりであります。

アルミ圧延品事業

アルミニウム圧延品業界については、板類の国内需要では、飲料缶は前年同期比微増となり堅調に推移いたしました。自動車関連向け需要は底堅く推移しました。一方で船舶需要や液晶・半導体製造装置等の需要は低調であり板類全体数量としては前年同期比で微減となりました。押出類に関しては、建材は堅調でしたが、バストラック、自動車熱交、二輪の輸送向けが減少し押出類全体でも前年同期比で減少となりました。

当社グループの国内向売上数量は、前年同期比で板類は減少、特に船舶用厚板、液晶・半導体製造装置用厚板で大幅に減少し、また、押出類でも減少しました。一方、海外向売上数量では、Tri-Arrows Aluminum Inc.の缶材・自動車パネル用アルミニウム素材等の増加やUACJ (Thailand) Co., Ltd.での缶材増加に支えられ、当社グループのアルミ圧延品総量では前年同期を上回りました。

このような販売状況のもと、販売数量は増加したものの、地金価格の下落等により、当第1四半期連結累計期間のアルミ圧延品事業の売上高は128,861百万円（前年同期比7.1%減）となりました。営業利益については、棚卸評価関係が悪化したこと等により、2,350百万円（同73.6%減）となりました。

伸銅品事業

当事業の主力製品である空調用銅管の主要用途である家庭用ルームエアコン及び業務用パッケージエアコンの国内出荷は引き続き好調に推移し、前年同期を上回りました。銅地金価格は、上昇傾向にあった前年同期と比べ、当期は軟調に推移しました。

このような環境のもと、当第1四半期連結累計期間の伸銅品事業の売上高は12,356百万円（前年同期比2.8%減）となりました。営業利益は、棚卸評価関係の悪化等により339百万円（同51.2%減）となりました。

加工品・関連事業

日本、及び米国の加工品事業での売上の落ち込みはあったものの、熱交材・電池材・空調関連品が堅調に推移したことが寄与し、当第1四半期連結累計期間の加工品・関連事業の売上高は48,881百万円（前年同期比0.6%増）となりました。一方、営業利益は比較的収益性の良い加工品事業の売上減が影響し、210百万円（同69.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当1四半期連結会計期間末の資産については、売上債権の減少等により、789,129百万円（前連結会計年度末比2.2%減）となりました。

負債については、有利子負債の返済等により、589,033百万円（同2.0%減）となりました。

純資産については、配当金の支払い及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少等により、200,096百万円（同3.0%減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①売上高、営業利益及び経常利益

足元のアルミ地金市況価格が前回予想時点の想定より下落しており棚卸評価関係による悪化が見込まれること、米中貿易摩擦や中国経済減速の影響がIT材、液晶・半導体装置向け厚板で続くと見込まれること等から、2019年5月14日に公表した通期業績予想を修正いたしました。

売上高は670,000百万円、営業利益は10,000百万円、経常利益は4,000百万円を見込んでおります。

②親会社株主に帰属する当期純利益

米中貿易摩擦や中国経済減速の影響等によりIT材、液晶・半導体装置向け厚板等の販売が減少していること、また、国内を中心にアルミ圧延品の市場成長が鈍化しており国内の事業環境が構造的に変化してきていること等から、現在、事業構造改革プランを策定中であります。

現時点においては事業構造改革の内容を精査中であり、業績に与える影響等につきましては不透明な状況にあることから、2019年5月14日に公表した数値を一旦未定とさせていただきます。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益及び事業構造改革プランに関しては、2019年9月に公表予定です。

③配当予想

上記に記載のとおり、親会社株主に帰属する当期純利益を未定としたことから、配当予想につきましても一旦未定とさせていただきます。

詳細につきましては、本日(2019年8月1日)公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,510	31,290
受取手形及び売掛金	145,217	125,017
商品及び製品	38,243	37,463
仕掛品	62,300	58,815
原材料及び貯蔵品	54,567	51,768
その他	21,528	23,412
貸倒引当金	△73	△73
流動資産合計	348,291	327,694
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	70,977	70,105
機械装置及び運搬具（純額）	117,002	114,896
土地	114,920	114,842
その他（純額）	59,829	68,757
有形固定資産合計	362,728	368,600
無形固定資産		
のれん	43,156	42,011
その他	12,835	12,070
無形固定資産合計	55,991	54,081
投資その他の資産		
投資有価証券	21,384	20,579
その他	18,902	18,257
貸倒引当金	△72	△81
投資その他の資産合計	40,214	38,755
固定資産合計	458,933	461,436
資産合計	807,224	789,129

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	122,535	116,985
短期借入金	61,601	58,019
1年内返済予定の長期借入金	45,579	54,089
その他	43,555	43,745
流動負債合計	273,269	272,837
固定負債		
長期借入金	267,901	256,428
退職給付に係る負債	18,192	18,205
その他	41,658	41,564
固定負債合計	327,751	316,197
負債合計	601,020	589,033
純資産の部		
株主資本		
資本金	52,277	52,277
資本剰余金	80,318	80,318
利益剰余金	51,337	46,829
自己株式	△307	△309
株主資本合計	183,624	179,115
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,670	1,271
繰延ヘッジ損益	△1,203	△1,625
為替換算調整勘定	6,950	7,247
退職給付に係る調整累計額	△44	△21
その他の包括利益累計額合計	7,373	6,872
非支配株主持分	15,206	14,109
純資産合計	206,204	200,096
負債純資産合計	807,224	789,129

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	171,553	159,754
売上原価	148,780	143,801
売上総利益	22,772	15,954
販売費及び一般管理費	14,186	14,642
営業利益	8,586	1,311
営業外収益		
受取配当金	285	320
デリバティブ評価益	613	-
その他	459	433
営業外収益合計	1,356	754
営業外費用		
支払利息	1,607	1,755
持分法による投資損失	924	-
その他	605	446
営業外費用合計	3,136	2,200
経常利益又は経常損失(△)	6,806	△135
特別利益		
投資有価証券売却益	43	274
その他	4	14
特別利益合計	48	288
特別損失		
固定資産除却損	149	118
投資有価証券売却損	88	-
その他	51	14
特別損失合計	289	132
税金等調整前四半期純利益	6,565	21
法人税等	4,036	1,621
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,528	△1,600
非支配株主に帰属する四半期純利益	269	13
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,260	△1,613

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,528	△1,600
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	225	△399
繰延ヘッジ損益	242	△555
為替換算調整勘定	124	△490
退職給付に係る調整額	△24	△76
持分法適用会社に対する持分相当額	△315	449
その他の包括利益合計	252	△1,070
四半期包括利益	2,780	△2,670
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,992	△2,114
非支配株主に係る四半期包括利益	789	△556

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している在外連結子会社において、当第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号「リース」を適用しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アルミ圧延品 事業	伸銅品事業	加工品・関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	123,524	8,751	39,278	171,553	—	171,553
セグメント間の内部売 上高又は振替高	15,125	3,958	9,325	28,408	△28,408	—
計	138,649	12,709	48,603	199,961	△28,408	171,553
セグメント利益	8,893	694	692	10,279	△1,693	8,586

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,693百万円には、たな卸資産の調整額△31百万円、セグメント間取引消去△85百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,577百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アルミ圧延品 事業	伸銅品事業	加工品・関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	111,480	8,443	39,831	159,754	—	159,754
セグメント間の内部売 上高又は振替高	17,381	3,913	9,049	30,343	△30,343	—
計	128,861	12,356	48,881	190,098	△30,343	159,754
セグメント利益	2,350	339	210	2,899	△1,588	1,311

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,588百万円には、たな卸資産の調整額40百万円、セグメント間取引消去△90百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,538百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、新たに設置した自動車部品事業本部を「加工品・関連事業」に区分したことに伴い、前連結会計年度まで全社費用として「調整額」に含まれていた自動車部品事業本部の費用を「加工品・関連事業」に含めております。なお、当該変更による影響は軽微であります。